

もくじ

えび人 vol.75	2	令和6年能登半島地震	
今号の表紙	3	被災地への支援状況	6
市民の広場	5	相談	7
文化会館・市民ギャラリー	6	図書館	8
		子育て・HUGHUG赤ちゃん	10

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など
 えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



世界遺産検定に挑戦したいです。
上星小学校 土井さとみさん(10歳)

写真

タイトル：桜道
 撮影場所：北部公園
 撮影者：国分北在住 篠原慶一さん



(写真上)子どもたちには「背中を見て学ぶ」ことを教えている

(写真中)えびな市民まつりのステージは毎年恒例。地域に密着した活動が原点

(写真下)休日は家族の時間。テーマパークに行くことも



太鼓の音に地域への感謝を込めて

嶋田さんは、昭和55年に父が設立した「海老名東柏太鼓」で幼い頃から太鼓に親しみ、打ち頭として活躍。チームの指導者としても輝かしい実績を残してきました。

竹を割ったような性格は父譲り。「芸事は礼で始まり礼で終わる」という恩師の言葉を肝に銘じ、技術の習得だけでなく、あいさつや言葉遣いの礼儀作法も大切にしています。厳しくも、義理人情に厚い嶋田さんを慕う教え子は多く、「大人になって子どもを連れて遊びに来たりするよ」と喜びを交えて話します。

チームの優勝が当たり前になっていた頃は体調不良に悩まされたこともありました。「プレッシャーが大きくて、途中で疲れちゃった。でも今はコンクールに出ることもないし好きなように練習できるから、いいに戻った気分で楽しんでるかな」

「先代の背中を追いかけてここまで来たからね。地域の人に支えてもらって今がある」。今日も感謝と熱い思いを胸に、勇壮な音を響かせます。

今月のえび人

嶋田昭彦さん
(東柏ケ谷在住・51歳)

市郷土芸能文化奨励団体第一号「海老名東柏太鼓」二代目会長。指導者兼演奏者として活躍しながら、2年前からは県大会の審査員も務める。家業は豊店。体力維持のための筋トレが日課。

編集雑記

日ごとに春めいてきました。飼っているリクガメが冬眠から目覚めるのが家の春の訪れの合図。毎年上手に越冬しては目覚めてを繰り返す、生き物の季節を感じ取る本能や、命の力強さを感じます。3月は気候や環境の変化が大きくなる時期です。私も適度にクールダウンしながら、新年度に向けて英気を養いたいものです。(あ)